

実験動物における環境エンリッチメント充実への取り組み

アステラスリサーチテクノロジー株式会社
動物管理部 小山公成

アステラスは2008年に大阪、2010年に筑波・焼津で動物実験・飼育施設の Association for Accreditation and Assessment for Laboratory Animal Care and Use (以下、AAALAC) による認証を取得した。国外の研究所でも AAALAC 認証取得を進めており、国内研究拠点はすべて、国外施設も複数の施設で認証を取得している。AAALAC 認証取得においては ILAR のガイド第8版に従い動物実験・飼育に関わる社内プログラムを整備・運用する必要があるが、第8版では前版よりさらに踏み込んだ環境エンリッチメントへの配慮が望まれている。

環境エンリッチメントは「実験動物のウェルビーイングを向上させること」が主目的とされ、動物種に固有の行動を発現しやすくなるような刺激、構造物、および資源を提供することによって達成される。実際には飼育ケージの構造への配慮や玩具等の資材の供与、動物の運動プログラムの向上や動物同士あるいは人間との交流の機会等ハード・ソフト両面での対応が含まれる。環境エンリッチメント充実に取り組む中では、実験目的を阻害せず且つ動物のウェルビーイングを達成しなければならないこと、業務量の増加等クリアしなければならないこともあり、悩む場面も多い。本研究会では上記も踏まえた上で社内での環境エンリッチメントへの取り組みについて私たちの経験・実践についてお話しさせていただこうと考えている。